

大野木グラウンドワークだより

平成 22 年 2 月 13 日 発行 NO 40 発行責任者 藤田 博、伊藤 晋

1 月 9 日(土)は大雪のため皆さんお疲れもたまっており急遽中止をさせていただきました。暖冬、暖冬という声に安心しきっておりましたら大晦日から大雪となり今回は寒の中、新年の雪と合わせて根雪となりました。

これはこれで、琵琶湖に冷水が流れ込み深水層との酸素のやりとり、攪拌ができて琵琶湖の生物にとっては恵みの雪となったのですが、雷でインバーダーはエラーを起こすは、あちこちで除雪のご苦労大変でした。しかし、主な道路は消雪が完備してその効果たるや抜群でありました。さてさて、我が政所夢塾公園はといいますと真っ白な雪の原の中に静かに・・・というところですが、竹が雪の重みで倒れ道をふさぎ通行に支障をきたす状態であります。2 月 5 日夕方からこの冬一番の寒気が入ってきて北日本、北陸は吹雪で当地も温度が下がり、翌 6 日土曜日になっても雪がちらつき 7 日の GW どうするか思案

公民館で、営農の総会が終わって事務所に 5 人集まり、「そばとちがゆ」の話を清水さんがしてくれて、いきなりその方向になりました。で年度計画を中心にワークショップをやることになりました。

2 月 7 日は 9 時前から皆様準備を始めていただいて、そば打ち、栃粥、ぼたもちとグルメの極みを一同大いに楽しみました。

まずは「そば打ち」のことを体験させていただきながらメモしておきましたので紙面にて紹介いたします。これは愛代ちゃんからのリクエストもありましたが、女性陣が炊事場でご馳走の段取りをしてもらっていて直接「ソバ打ち」に参加されていませんでしたので、

まず測りですが、300g として 7:3 の割合でいきます
そば粉: 7・・・210g、強力粉: 3・・・90g を八の字でよく混ぜ合わせる
水は 200cc を用意しておいて最初にその半分をジワジワいれながらこねる
これは耳たぶのやわらかさまでこねていく、さらに少し水をいれて
菊もみをしっかりやっていく、それを周囲を押さえながら真ん中が盛り上がる三角錐にして、最後に真ん中を押さえ込み
三角錐にしたものを水平にして周囲を押さえながら廻していくと中央に「へそ」が出来る。
この「へそ」出しが一つのコツだとのこと、それで最後にこのへそを押さえ込む

次に棒を使って生地を巻き込みながら、横へ延ばしながら転がすことを
縦に、横に交互に強くなく、柔らかくなく其々4回はころがすと
なんと大きく生地は広がってきます、その際、必ず粉を振りかけながらやること
この生地を4つに畳んであて木（押さえ板）を合わせていよいよ包丁で切っていく
稔さん奮闘、観客多くしてあちこちから注文、指示があつて大変です

「粉振り」「押さえ」「延ばし」「包丁を寝かす」「角度は」「かえしを」と
何と注文の多いソバ屋さんですこと

グルメ長であり、ルッチ大の「どんべ」の会長さんでもある清水さんの手ほどきで
楽しい「ソバ打ち道場」となりました。

以上の顛末からそばうちの段取りに参考にしていただければと

不明な点は清水さんに直接問い合わせてください

稔さんが2回、清水さんと小生が各1回の4回打ちでとりあえず終了

ここでみなさんに手を休めていただき集合、ワークショップとなりました。

22年度日程、柏原中学校の一年生の体験学習受け入れ、ホテルシャトルバス対応として、
児童会とのコラボ、公園整備、新たな挑戦事項等々について意見交換

トイレのこと、ワンコインビジネス、自家発、ほたる行灯、ぼんはぜ、他地域との交流
筆立て、牛乳パック集め、陶芸窯、パイ焼き、おにぎり、ドーナツ等々

いくらでもアイデアは出てきます

こうなると、整理が大変です

それで一段落として、それぞれの作業に戻り昼食準備

ぼたもち、きなこもちのおいしかったこと だれかが「これは売れるで」と

毎度のこと持ち込んでいただいた「つけもの」のおいしいこと

焼酎のお茶割りが出て

枳粥のいただき方は塩を少々入れて、北向いて笑うのだそうです

枳は木之本の奥山のものだそうでした、40日かけてさらされるとのこと

いまや希少で貴重なもの、やがては幻の食材になるかも

そばはうちたてをゆがいて、いただきましたが腰があつて美味しい味つけ

雪のため変則な1~2月例会となりましたが、19人の参加のもと意味ある会となりました。

ほんとに手作りでこんなにすばらしいグルメにありつけるなんて

も一たまりませんな

隆俊さんからたくさんのお菓子を届けていただきありがとうございました。

メモリ

12月23日、奥伊吹・甲津原の船川さん宅にての忘年会には22名の参加をいただきました。最初に吉田善次さんの叙勲のお話を伺い同氏の乾杯の音頭でスタート、獅子鍋、すきやきで山菜、いわなの刺身で2時間余の楽しい昼食会となりました。

後半は船川さんの全国大会優勝の声・・・蓮如音頭、江州音頭、道中伊勢音頭の名調子に一同手拍子、みなさん元気よく掛け声をかけて笑顔がいっぱいとなりました。

その上、お土産に「炊き込みご飯」「よもぎもちととちもち」「ゆず味噌」をいただき甲津原を後にしました。ありがとうございました。いただきました「蓮如音頭」と中嶋さんからの「五戒」を添付いたします。

12月27日ルッチプラザベルホールでドキュメンタリー「1/4の奇跡」を観賞
養護学校教諭と子どもたちの実録ですが、少し紹介しますと

アフリカのある集落でマラリヤが大発生して、あわや全滅かという状況の中で科学者が調査したところ1/4の人達は鎌形赤血球で、この人達にはマラリヤは感染しないことが判明したというもの。

ペストの大発生から700年して、エイズもその条件が整ったから発生したのではないかとする説

筑波の科学者は人類は38億年、植物その他は380億年経って今日があるがその全ては一点から始まっているという

これは人間社会の障害者のことだけでなくすべてのことに言えることと

このドキュメンタリーでは養護学校の生徒と先生の葛藤から「いのちの神秘」を導き出して障害者に対する世の理解と支援を訴えている。

人間はみえない力によって生かされていることを

1/4のすごさ、それは飛行機からしか描けないようなナスカの地上絵やペルーの石垣、マチュピチュの建造物は6本の指をもつ人達が超能力を発揮して作られたのではないかとする仮説には確かな学術根拠から説得力あり

見終わってこれはムーブメントにしていく必要ありと感動を覚えた。

里山の再生は

「生物多様性」年になり環境保全と自然資源利用への両立に向けて里山への関心は高まってきました。里山は農耕民族である日本人が住む場と、資源の場との折り合いの場として人為的に作り上げた自然：生産と生活の場であります。それが近代化、工業化、サラリーマン化してきて里山を支えてきた里村の生活のリズムが狂い、若者、後継者たちは都市部に稼ぎに出掛け里山コミュニティはどこもかしこもが限界集落となっていました。里山の労働力を失った現状では里山は崩壊していくのは当然の理であって、だからこそ現代の課題として注目を集めることになってきているのであります。

何故ならここには日本人の「ふるさと」があるからだと思います。巷、学者はもちろん行政も里山の再生を強く主張し始め、主にはNPO等への「協働」をいうことで自らのボランティアを呼びかけている程度であるがそれでよいのでしょうか。

もっと前向きな里山というステージを活用できる方途をビジョンとして具体的なステップを展開することが、今、少子高齢化社会の中で求められているのではないのでしょうか。

新たな里山の構築として農村とまち、生産地と消費地の結びつきをどうするかではないのでしょうか。特産品づくり、ホタル資源、太鼓踊りなどで都市部から人を呼び込むことから新たな関係価値が生まれるのかも・・・

成熟社会の中であって里山こそが人々の最後の楽園であるといえれば言い過ぎになりますか。恵まれた大野木の里山をどうするかは大野木人の考え次第であります。今年はこちらから里山論議が盛んになると思います、大野木でも大いに議論を深めていきたいものと存じます。

1/21 365 沿いの内保地先 「びわ湖雪国科学」(薪ストーブ屋さん)で開かれた「湖北流域森林づくり委員会」に義弘さん、政信さん、晋さんと小生藤田の4人が参加いたしました。

テーマは①竹炭の供給先②山主をつなぐ仕組みの2題でして、わが方は窯の休止中であることを話しておりますと砂で止める方法をうかがいました。東尾上浜の砂(西野隋道1キロ手前)を軽トラで取りにいった窯の上に20センチくらい敷いて炊けばひび割れに吸い込まれやにで穴は塞がれるというもの、焼き芋も充分出来ますよとのことでした。

さて竹炭はまず床下剤に竹さく液は6ヶ月かけて分離させて沈殿物は防腐剤にうわずみは除いて真ん中の透明なものは野菜の消毒はもちろんに入浴剤、化粧水に千倍希釈でOK。

薪ストーブがトレンドに、山に眠る宝物、山主は無関心なれど薪のほしい人は増えている。それを公共からアナウンスして促すこと、仲介の森林組合、販売店がどういうシステムを構築できるかですが、山主にメリットがあつて資源がうまく活用されるようになれば・・・

レイチェル・カーソン日本協会会長の上遠恵子さんのエッセイの一部に次のようなくだりがありましたので紹介します

～ チェンジには時間がかかること、政治も教育も自動販売機のようにお金を入れれば缶コーヒーが出てくるように結果が直ぐに出てくるものではない。

人間だって長期間風呂に入れない状況にあつてようやく風呂に入ったとき、いっきに垢を落とすと風邪をひくと言われている。

50 年来の政権交代という歴史的現場に居合わせているのだから、辛抱強く見守っていきたいものだ。

～

環境についての世論調査結果をみていたら、地球温暖化をはじめ資源が有限なことも、さまざまな環境問題についての認識度は 90 パーセント以上でほとんどの人が知っている。しかし、ではそのために行動するかという問いに対して「する」という人は 60 パーセントに減っていた。つまり面倒なことはしたくないのだ。

～

これまで環境は経済の一部であったが、これからは経済は環境の一部であると考えるべきではないだろうか。

～

NPO 法人 環境文明 21 会報 ～隠居のひとりごと～ から抜粋

今回は行事が立て込んできましたので **3 月 21 日** に変更いたします

作業は雪のあとの苗木のご機嫌伺い、コースターづくり、屋台の段取りなどなどです
しいたけとなめこはこの春豊作になると見込んでおります

年間日程はカレンダーに書き込みお願いします

2/9 照寿さんから屋台の設計図が届きました。スミコさんは牛乳パックを手配いただきまして女性陣に筆立て作業の連絡、集合作業と それで小生には「和紙とのり」の注文を承り、～そうなんです、もうワンコインビジネス事業は発車しているのです。

21 実績と 22 計画

大野木グラウンドワーク協会

21		22		備考
月日	実績	月日	計画	
4/11	花見	4/10	里道再生、森づくり 花見（お昼）	
5/10	森林浴 窯詰め	5/9	炭焼き、遊具点検修理 ほたる小屋づくり	
6/7	物置小屋	6/6 6/12 6/13	ほたる準備 12、13 政所川 ホタル観光客受入体制	
7/5	小屋完成	7/10	児童会「森遊び」 ネイチャークイズ	
8/23	バーベキュー	8/22	バーベキュー	
9/20	作業台づくり	9/19	竹きり、草刈	
10/20	中学生体験学習	10/18 10/19	前日準備 柏中一年生里山体験 竹切、間伐、クラフト	
11/7	竹きり、里道再生	11/6	竹きり、ホダ木切り出し	
12/8	実のなる木の植栽 12/23 忘年会	12/7	実のなる木の植栽 12/23 忘年会	
1/9	大雪のため中止	1/8	植菌	
2/7	ワークショップ そば道場と栃がゆ	2/6	小屋修理 遊具修理	
3/21	移動式小屋組み立て 炭材詰め込み	3/6	炭材用意	

平成 22 年 10 月 19 日（火）柏原中学校一年生：里山体験学習プログラム

場所：大野木「政所夢塾公園」

班	9.00 ～ 9.05	9.10～10.00	10.00 ～ 11.20	10.30～11.20	11.20～12.10	12.20
1 班	あ い さ つ	竹きり 運搬	休 憩	間伐 枝打ち	クラフト ・コースター ・マイ箸	昼 食
2 班		間伐 枝打ち		クラフト ・コースター ・マイ箸	竹きり 運搬	
3 班		クラフト ・コースター ・マイ箸		竹きり 運搬	間伐 枝打ち	

作業項目	竹きり、運搬	間伐、枝打ち	クラフト
指導者	水野義弘 小澤勝巳 前川大祐 水野照寿	吉田善次 小澤武久 樋口政信 伊藤達夫	中嶋良隆 清水清市 吉田 稔 宮崎清史

休憩、昼食準備：女性 8 名

森田愛代、藤田光子、小澤八重子、山根幸子、水野スミコ、伊藤紀美子、吉田佳子
藤田洋子

ハシリテーター、記録：藤田 博、伊藤 晋

22 事業ワークショップ

22 軸足	事業	性格	意見等
<ul style="list-style-type: none"> 大野木の美しいまちづくりへの貢献 三世代交流学習基地として 	<p>6/12、6/13</p> <p>ほたるシャトルバス対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンコインビジネス コースター、コーヒードーナツ 婦人部「筆立て」作成中 	<p>グリーンツーリズム</p> <p>都市部との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな関係価値の構築実験 	<p>行灯</p> <p>仮設トイレ</p>
<ul style="list-style-type: none"> 里山の保全維持 	<p>7/10</p> <p>児童会とのコラボ</p> <ul style="list-style-type: none"> 森遊び ネイチャーゲーム 	<p>三世代交流</p>	<p>上丹生春照</p>
<ul style="list-style-type: none"> 青少年の健全育成のための場として 	<p>10/19</p> <p>中一年生体験教室</p> <p>29人1クラス</p>	<p>体験活動</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> インディアンテント 滑り台 ブランコ、カブト虫の巣増設 	<p>公園整備</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 自然エネルギー実験 炭焼き～砂載せ 	<p>新たな挑戦</p>	<p>陶芸窯</p> <p>パイ</p> <p>自家発電</p> <p>原木ビジネス</p>

蓮如音頭

一. 正しき教え 説きひろめ (いし)
人にやせしむ 思いやり
お慈悲の中で お念仏 (いし)
蓮如さんだま

心 明るく ぬたか
いつも笑顔で にじにじと
そんなお方が そんなお方が

二. 一願一願と 言ひながら (いし)
懈怠 ^{だいた} の心 ヲ打つて
我が身を見つめ お念仏 (いし)
蓮如さんだま

鐘の音ほし 響きやせぬ
すまぬすまぬで 日をおくる
それが私の それが私の

三. 何をくちくち 生かしている (いし)
娑婆 ^{しゃは} とつもの 味なもの
こちらが出ても お念仏 (いし)
蓮如さんだま

思いとおりに 行かぬのが
縁次第 ^{いひあはれ}で 裏表
そんなお方が そんなお方が

四. 如何に苦しい 時あれど (いし)
我が人生を 引き受けて
喜ぶ心 お念仏 (いし)
蓮如さんだま

人をなだませ しのやませ
今の私を そのままに
それが私の それが私の

五. 今日か一日 生かされて (いし)
何はなしくも み教えに
無上 ^{むじょう} の宝 お念仏 (いし)
蓮如音頭を

生かす命の 尊れども
おつたじの身の 幸せは
眠つてみなされ 眠つてみなされ

田 様

嬉しいことたくさんあること

感謝を知らぬこと

嬉しいことたくさんあること

自分に甘えすぎること

悲しいことたくさんあること

自分に優しくしてあげること

心配なことたくさんあること

命を大切にすること

嬉しいことたくさんあること

自分に優しくすること

大野木グラウンドワークだより

N040 平成22年2月7日(日) 晴れ



22年の軸足
 ※大野木の美しいまちづくりへの貢献
 ※三世交流学習基地として
 ※里山の保全維持
 ※青少年の健全育成のための場として

2010年今年初めてのグラウンドワーク開催、暖冬のはずが「1月降雪で中止」
 「2月立春を過ぎても積雪」やむなく公民館でワークショップ
 今年も平穏無事でありますように

そば打ち体験



そば粉の割合が味を左右



「こねる」力加減が微妙



「のばす」均等に



引いて切らず「押して切れ」



綺麗に出来た「そば」



栃の実でジックリ炊いた「とち粥」



小豆と黄な粉の「ポタモチ」



19名が美味しく戴きました



今年も仲良く頑張りましょう

「継続は力なり」

次回は3月21日(日)です、よろしく

